

子どもに防火のお話を！

子どもだけのお留守番だいじょうぶ？

子どもだけのお留守番は、危険がいっぱいです。子どものときから火事の怖さ、火事になったときはどうすればよいのかなど、防火について、ご家族で話し合ってみましょう。

1 火遊びをさせない

子どもは、好奇心がいっぱいです。子どもは、マッチやライターがあると、火をつけてみようとしています。置きっぱなしは、大人の責任です。届かないと思っていても、子どもは思わぬ行動をとりますので、子どもの手の届くところには、絶対置かないようにしましょう。



2 必ず火のしまつをする

外出するときや、ガスコンロなどのそばを離れるときは、必ず、ガスコンロやストーブなどを消しましょう。ストーブの近くにおもちゃや、洗濯物などの燃えやすいものを置かないようにしましょう。

3 みんなで気をつけよう！

ちょっとしたうっかりや、子どもの火遊びなどが恐ろしい火事となります。日頃から火事の恐ろしさと、火事になったら大声で助けを求めるなどの方法を子どもに教えましょう。



☆住宅用火災警報器の設置を！☆

条例により、既存住宅では平成23年5月末までに住宅用火災警報器を取付けなければなりません。設置場所などの詳細は、お近くの消防署または警報器販売店へご相談ください。

問い合わせ：明石市消防本部予防課査察指導係

☎918-5272



検索

ホームページは「明石市消防本部」で



みんな おうちの しょうぼうし



ひ

火あそびはかじになるから
ぜったいにダメ。



ひ

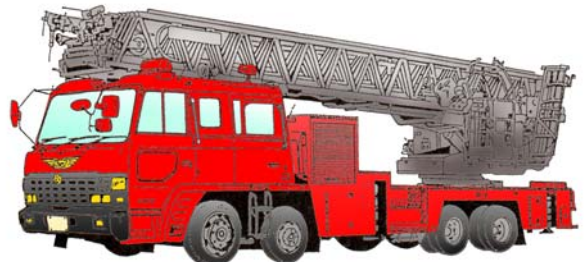
火はとっても
こわいんだよ。



かじをみつけたら、
おとなにしらせよう。



おとうさん、おかあさんに
おしえてあげよう。
みんなで火のようじん



かじときゅうきゅうは

 119

あかししょうぼうしょ